

【自動車使用管理計画書作成方法】

自動車使用管理計画書の作成方法について簡単に説明します。

[用紙について]

「表紙」、
「事業場別特定自動車台数」、
「特定自動車NOx・PM排出量」、
「適正運転の実施等及び車両走行量の削減の計画」、
「特定自動車代替計画、排出ガス低減装置装着計画」
に必要事項を記載してください。
(自動車使用管理計画報告書となります。)

[排出量算出に必要な資料について]

車両の排出量を算定するには、排出係数表が必要になります。
排出係数表を参照して自動車使用管理計画表を作成してください。

宛先は、当該運輸局長宛てで
お願いします。

作成年月日を記入してくださ

平成 年 月 日

記入用紙A
表紙

殿

〒	—
住所	
フリガナ	
氏名	

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

会社等の住所、名称、フリガナ、
代表者名を記入してください。

自動車使用管理計画

自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法第17条に基づき、特定自動車の使用管理計画を次のとおり提出します。

特定事業者の氏名又は名称	名称、所在地を記入してください。		
当県(都、府)における主たる事業場の所在地	〒	—	
使用する特定自動車の台数	「事業場別の特定自動車の台数」で記入された事業者の使用台数の合計を記入してください。		
業種名		番号	
従業員数	人		
担当者氏名及び連絡先	所属・氏名		
	電話		
	FAX		
	Eメール		

「事業場別の特定自動車の台数」
で記入された事業者の従業員数の
合計を記入してください。

業種名、番号は、下記から選択して記入してください。
・道路旅客運送業 43
・道路貨物運送業 44

記載した担当者の所属、氏名、電話番号、
FAX、Eメールアドレスを記載してください。
電話番号に内線がある場合は、内線番号も記載してください。

事業場別の特定自動車の台数

平成 年 月 日現在

事業場コード		1	2	3	記入用紙B 事業場別特定自動車台数1		
事業場の名称							
事業場の所在地		営業所等の名称、住所、電話番号、従業員数を記入してください。 事業場等が5箇所以上の場合は、別紙に記載してください。					
事業場の連絡先							
従業員数							
種類	車両総重量	合計	台数	台数	台数	台数	台数
普通貨物自動車	1.7t以下						
	1.7t超～ 2.5t以下		各営業所等で使用されている自動車の台数を種類、 車両総重量別に記入してください。 乗用車、被牽引車は車両総重量別に分ける必要はありません。				
	2.5t超～ 3.5t以下						
	3.5t超						
小型貨物自動車	1.7t以下						
	1.7t超～ 2.5t以下						
	2.5t超～ 3.5t以下						
	3.5t超						
大型バス	1.7t以下						
	1.7t超～ 2.5t以下						
	2.5t超～ 3.5t以下						
	3.5t超						
マイクروبス	1.7t以下						
	1.7t超～ 2.5t以下						
	2.5t超～ 3.5t以下						
	3.5t超						
特種自動車	1.7t以下						
	1.7t超～ 2.5t以下						
	2.5t超～ 3.5t以下						
	3.5t超						
乗用自動車							
合計							
被牽引車							

車検証の内容と入力項目について

① ナンバープレート 初度登録年月 車種 ③

平成 年 月 日 ○○運輸支局長

自動車検査証

自動車登録番号又は車両番号 登録年月日/交付年月日 初度登録年月日 自動車の種別 用途 自家用・事業用の別 車体の形状

車名 乗車定員 最大積載重 車両総重量 ⑤

排出ガス記号とは:ハイフン(ー)前のアルファベット記号を言う 番号 長さ 幅 高さ 前前軸重 前後軸重 後前軸重 後後軸重

④ 型式 原動機の型式 燃料の種類 ⑥ 型式指定番号 類別区分番号

所有者の氏名又は名称 型式 燃料の種類 ⑥

所有者の住所

使用者の氏名又は名称

使用者の住所

使用の本拠の位置

有効期間の満了する日 年月日 年月日

備考

- ナンバープレート ①の部分になります。
- 初度登録年月 ②の部分になります。入力年は西暦になります。
- 車種 ③の部分になります。
- 型式 ④の部分の頭の部分の2桁又は3桁のアルファベットになります。
- 重量 ⑤の部分になります。車両総重量ですので間違わないでください。
- 燃料の種類 ⑥の部分になります。

<参考> 年間走行距離、年間燃料給油量について

年間走行距離、及び年間燃料給油量は、年度内（4月1日から翌年3月31日まで）の合計値を入力してください。

1. 年間走行距離の求め方

走行距離に関する記録がある場合は、それを利用してください。

記録がない場合で、車検証の備考欄に旧走行距離計表示値と走行距離計表示値の表示がある場合には、当該表示値の差から年間走行距離を求めて下さい。

旧走行距離計表示値と走行距離計表示値の表示が古い場合でも、年度によって大きな差がない場合には、その値を利用して求めて下さい。

走行距離に関する資料が何もない場合には、次のように求めてください。

まず、地図を利用して通常走るルートを考えて、大まかな1日当たりの走行距離を求めてください。

次に、当該1日当たりの走行距離を基に、一月の平均的運行回数を考えて一月あたりの平均運行距離を12倍し、年間走行距離を求めてください。

2. 年間燃料給油量の求め方

年間燃料給油量に関する記録がある場合には、それを利用してください。

記録がない場合は、今後1ヶ月間の給油伝票等を集め、当該伝票の合計から一月あたりの燃料給油量を算出し、それを12倍して年間燃料給油量を求めてください。

適正運転の実施等及び車両走行量の削減の計画

計画事項		計画項目	内
車両の有効利用の促進	適正運転の実施		エコドライブマニュアルの作成、配布
			エコドライブに関する教育、訓練の実施
			エコドライブの実施(空ぶかし、急発進・急加速運転等の削減等)
			アイドリングストップの徹底
			デジタル式運行記録計等の活用
			優良ドライバーの表彰
			その他
	車両の維持管理		日常点検・整備マニュアルの作成、配布
			日常点検・整備に関する教育、訓練の実施
			日々の始業点検・定期点検の完全実施
		エアークリーナーの定期的な点検	
		運転日報の作成	
共同輸配送の促進		物資の集荷、仕分け業務の共同化(積載効率、輸送効率の向上)	
		配送業務の共同化(輸送距離、使用車両の削減)	
帰り荷の確保		配送と集荷を1台で実施できるように工夫	
		その他	
ジャスト・イン・タイムサービスの改善		時間指定配送の回数の低減を要請	
		その他	
受注時間と配送時間のルール化		受注時間と配送時間の設定(ルール化)	
		緊急配送をできるだけ避ける(随時配送の廃止)	
検品の簡略化		検品のルーチン化による時間の短縮	
		その他	
道路混雑時の輸配送の見直し等		朝夕ラッシュ時の配送を昼間配送に振替	
		積載効率が低い土曜日、日曜日の車両使用の削減	
商品の標準化等		積み合わせを容易にするため商品荷姿を標準化	
		その他	
モーダルシフトの推進		鉄道輸送の活用	
		海運の活用	
		その他	
公共交通機関の利用の促進		鉄道、バス等の公共交通機関の利用	
		自転車、徒歩による移動	
		マイカー通勤の禁止	
		カーシェアリングの導入	
情報化の推進		その他	
		車載端末、パソコンによる配車システムの導入・拡大	
		燃費等の記録管理	
		VICS搭載カーナビゲーションシステム等による渋滞回避	
物流施設の高度化、物流拠点の整備等		ETCの導入	
		その他	
		既存施設の機械化・自動化など	
		荷受け、仕分け業務の効率化のための物流拠点の整備	
その他		荷捌き場、駐停車場所、運転手控室などの整備	
		路上駐停車の自粛	
		その他	
		ISO14001の認証を取得	
		エコアクション21等の環境マネジメントシステムの認証を取得	
上記についての特記事項(独自の取組について記載してください)		グリーン経営認証の取得	
		環境報告書の作成	
		その他	

記入用紙F
適正運転の実施等及び
車両走行量の削減の計画

計画内容に該当するものがあれば、
計画項目欄にチェックを記入してください。

独自の取組がある場合は、こちらに記入してください、
記入欄が不足する場合は、別途用紙を追加してください。

記入用紙G
 特定自動車代替計画、
 排出ガス低減装置装着計画

特定自動車代替計画、排出ガス低減装置装着計画

		現状の台数		平成 年度		平成 年度		平成 年度		平成 年度		合 計			
		平成 年 3月31日 現在	減少 台数	新規 使用 台数	減少 台数	新規 使用 台数	減少 台数	新規 使用 台数	減少 台数	新規 使用 台数	減少 台数	新規 使用 台数	減少 台数	新規 使用 台数	保有台数 (年度末)
天然ガス															
ハイブリッド															
(ガソリン・LPG除く)	新☆☆☆														
	新☆☆☆☆														
	他														
(ハイブリッド除く)	新長期														
	他	超低PM ☆☆☆													
		超低PM ☆☆☆ ☆													
電気															
メタノール															
燃料電池															
合 計															
うち低公害車の合計															
うち排出ガス低減装置装着車の合計															

提出年度から4年後までの年度を記入してください。

提出年度を記入してください。

現状の台数、それぞれの年度の減少台数、新規使用台数、合計を記入してください。
 燃料種別と低排出ガスレベルで区分されていますので、排出係数表を参考にして分類してください。

注1)・低公害車とは、天然ガス自動車、ハイブリッド自動車、ガソリン自動車又はLPG自動車のうち新☆☆☆☆以上の低排出ガス車の認定を受けているもの、ディーゼル自動車のうち新長期規制適合車、電気自動車、メタノール自動車、燃料電池自動車とする。

注2)・排出ガス低減装置装着とは後付けした車両の台数とする。工場出荷段階で装着したものは含まない。